

平成27年度 奈良労働局公共調達監視委員会議事概要

平成27年10月15日(木)

14時00分～16時05分

奈良労働局局長室横会議室

1. 局長挨拶

2. 出席者

監視委員 中川和男(弁護士)、青木幸子(税理士)、藤森 茂(大学准教授)

労働局 吉野局長、小泉総務部長

事務局 小川総務課長、山本総務課長補佐、田川会計第一係長、  
大西会計第二係長、熊田会計第一係主任、小林会計第二係員

3. 委員長の選出

中川委員が、委員の互選により委員長に選出された。

(ここで、議事進行を中川委員長に交替)

4. 審議対象案件の抽出について

奈良労働局公共調達審査会の審議対象案件全て(物品役務18件)の対象案件の中から、運営要綱第6条の規定に基づく契約金額が500万円以上の物品・役務等において、競争入札6件(内、総合評価落札方式が3件)、随意契約2件(内、企画競争1件)を抽出し、審議対象合計8案件とした。

(1) 競争入札案件 物品・役務等 6案件

(2) 随意契約案件 物品・役務等 2案件

5. 審議対象案件に係る個別審議

中川委員長より冒頭「物品・役務の競争入札から始め、次に随意契約の順に各案件ごとに行う」との指示を受け審議が進められた。

(1) 物品・役務等【一般競争入札】案件審議

■案件1-1「平成27年度若年者地域連携事業」

【委員】仕様書の事業費内容について、どこが決めているのか。

【事務局】骨格部分については、本省が決めている。

【委員】奈良局独自のものはあるのか。

【事務局】本件については全国統一の案件であることから、奈良局独自のものは無い。

【委員】技術審査委員会(総合評価落札方式)における採点結果で、A社とB社に大差がついた理由は何であるか。

【事務局】事業実施方法の内容審査で差がついている。

【委員】どのような団体が落札したのか。

【事務局】事業主自らが経済の活性化について取り組んでいる団体である。

【委員】この事業の実績はどうであるか。

【事務局】必ず事業実績報告を提出させ、その内容について確認をとっており、一定の成果は上がっていると思料。

■案件1-2「平成27年度生涯現役社会実現環境整備事業」

【委員】所見なし。

■案件1-3「人材不足分野における人材確保のための雇用管理改善促進事業  
(介護分野)」

【委員】本案件は、当該落札事業所(団体)が全国的に落札しているのか。

【事務局】新規事業なので全て把握している訳ではないが、その事業にふさわしい団体が落札していると思われる。

■案件1-4「平成27年度奈良第三地方合同庁舎建物総合管理事業」

【委員】予定価格調書の算出根拠とする国土交通省(平成26年5月)庁舎維持管理費要求単価表は(一般に)公表されているものか。

【事務局】公表されており、毎年民間の営繕団体主催の説明会も開催されている。

【委員】昨年度と同じ業者が落札しているが、昨年度の落札額と比べ金額が増えている。

【事務局】昨年度と今年度の「仕様書」に大きな変更はない。

昨年度と今年度の「予定価格調書」の額は大差無く算定されている。今年度は予定価格に近い額で落札されており、今年度を大幅に下回る額で落札した昨年度は、企業の努力による入札結果と思料する。例年、予定価格は最終的に公表されている。

■案件1-5「平成27年度一体的実施事業」

【委員】委託事業費の所要見込額について、説明会が4回、巡回相談が4回とこの程度の事で年間事務機器費用が140万円というのは高過ぎるのではないか。

【事務局】パソコンとファックスの費用と思われるが、コーディネーターが常駐しており、年間を通してリース代金がかかるとと思われる。

【委員】コーディネーターはどのような仕事をしているのか。

【事務局】企画立案等の関連業務も行っており、その分時間がかかるとと思われる。

【委員】予定価格の立て方はどの様にしているのか。

【事務局】実績報告書による過去の実績を基に立てているが、さらに精査してみたい。

■案件1-6「平成27年度シニアワークプログラム地域事業」

【委員】前年度（26年度実施計画より算出）と今年度（27年度事業実施計画）の予定価格の算出根拠額の乖離が激しいのではないかと。

今後、予定価格の立て方を検討すべきではないかと。

月1回の技能講習にこんなに時間はいらぬはずである。

【事務局】技能講習の準備などに時間を要すると思われるが、今後、内容を精査して予定価格を考えていきたい。

(2) 随意契約【物品・役務等】案件審議

■案件2-1「平成27年度訓練受講前に実施するキャリア・コンサルティング推進事業」

【委員】この事業に職員がどれだけの時間を費やしているか確認しているのか。兼任が多いのではないかと。

【事務局】兼任している人もいると思われるが、（本来業務と委託業務）をタイムカード等で確認し管理している。

■案件2-2「平成27年度高齢者活躍人材事業」

【委員】所見なし。

(3) 総括

全体としての意見

【委員】予定価格と入札価格に大きな乖離のあるものがあり、また、事業によっては、予定価格のリース料に差のあるものがあるので、今後原因を検証し、予定価格の出し方には慎重に取り組んでもらいたい。

以上をもって審議は終了し、委員長より審議の結果において、運営要綱第9条の規定による局長への意見の具申及び勧告は無い旨の報告がなされた。